

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～友達の作り方ってあるの?.....「あります!」～


さあ、78回生を迎えて令和5年度のスタートです。今年もこの生徒指導部通心(信)～「不易」と「流行」～で、県高生のみんなの心が通じ合い、「思い通りにならないことが多くなったけど.....だからこそ、自己を高めることのできる、楽しい県高生活」を送るために、伝えたいことをこの通心(信)で発信していきたいと思います。

第1号は.....新しいクラスになって、新しい友達ができるかどうか不安になっている人もいるかもしれません。(新入生は特にそうかもしれませんね。)心から分かり合える仲間をつくるために大切なことって何だと思えますか?

ビートたけしさんの著書の中に、素敵なお話がありましたのでご紹介します。詩集「僕は馬鹿になった」より

『友達』

<p>困った時、助けてくれたり 相談に乗ってくれる</p> <p>馬鹿野郎!!</p> <p>友達が欲しかったら、 相談に乗り、</p> <p>そして.....相手に何も期待しない事.....それが友人を作る秘訣だ。</p>	<p>自分の事のように心配して そんな友人が欲しい?.....</p> <p>困った時に助けてやり、 心配してやる事だ。</p>
--	--



どうですか?.....求めるのではなく、与える。ですね。心から分かり合える仲間がほしいときは.....自分が相手に求める(欲しがる)のではなく.....本校の校訓の「忠恕」(ひたすら心から仲間を分かる気持ち)を持つことなんですね。

～多数決は.....正しいか?～

たくさん人が集まる場で、物事を決めなければいけないときに、最も民主主義的な方法として用いられるのが「多数決」です。最もたくさんの票数が集まった意見に従うという考え方で、学校ではおなじみの決め方ですね。例えば、合唱曲やクラスの出し物を決めたりする場などでやった経験がありますよね?

では、こんな場面を想像してみてください。春休み、友だち9人でどこかに遊びに行く計画を立てたところ、意見が3つに分かれてしまいました。最終的には多数決をとることになりました。

すると、右のような結果になりました。多数決の原則からすれば、USJに行くことになります。さて、何か問題はありませんかね.....?

- 1 USJに行きたい.....4票
 - 2 カラオケに行きたい.....3票
 - 3 ボーリングに行きたい.....2票

「パラドックス」という言葉を聞いたことはありますか?

これは「矛盾」を意味するギリシャ語で、「一見正しく見えるが、正しいと認められない説」のことを言います。

先ほどの例を使い、パラドックスの視点から考えてみます。

今度は、3つの中から最も行きたくない場所を決めようという意見が出されたとなります。すると、右のような結果になりました。つまり、USJに最も行きたいと回答した人が4人いる反面、USJには行きたくないという回答した人が、その数を上回る5人いることとなります。.....多数決の落とし穴に気づきましたか?

- 1 USJに行きたくない.....5票
 - 2 カラオケに行きたくない.....2票
 - 3 ボーリングに行きたくない.....2票